

# 特別支援教室だより

令和7年7月7日 第3号  
特別支援教室拠点校  
府中市立府中第六中学校  
校長 佐藤 光宏

はじめとした毎日が続き、梅雨明けが待ち遠しいこの頃です。そんな中でもお子様の元気な声が時折プールから聞こえてきます。

さて、特別支援教室の1学期の学習も7月14日(月)が最終日となり、ご家庭での学習面や健康面、そして、連絡ファイルの記入などご協力頂き大変感謝しております。1学期末には面談を通じてこれまでの学習の振り返りや、2学期に向け支援内容の調整を相談させていただきます。よろしくお願いいたします。

また、8月は六中エリア合同保護者会を予定しています。都立小児医療センターより講師の先生をお招きしての開催です。別途お知らせを送付いたします。

## <小集団の様子>

### 《クキク・ミルミル》

「見て」記憶したり理解するのと、「聞いて」記憶したり理解するのと、どちらが得意なのか？ 自己理解する活動を行いました。実際に目から得る情報と耳から得る情報の多さを数値化することで、わかりやすく自分の長所に気づき、記憶の仕方や学習方法を発表し合うことで、日々の学習に活かせることを学びました。

### 《ボッチャ》

パラリンピックの正式種目であるこの競技は、誰もが一緒に楽しめるユニバーサルスポーツです。お子様は楽しみながら悪戦苦闘し、戦略的思考力やチームワーク、集中力と、インクルーシブな社会性を学びました。真剣な眼差しでボールを投げ、好プレーには歓声を上げるなど、コミュニケーションの大切さも学ぶことができました。

### 《見えにくさと聞こえづらさ》

小集団授業で自分の情報収集の得意さと苦手さを学習したときに、同じ題材であってもお子様の「読みづらい」「聞こえづらい」という感覚の違いが見られました。発達の凸凹は人それぞれです。困りごとによって違ってきます。その人に合ったオーダーメイドの接し方や学びの方法がお客様の環境に必要です。「どうしたら生活しやすくなるのか？」と考え、わかりやすい枠組みと「理解・共感」が必要だと、支援する側も共に学ぶことができました。

### <特別支援教室の今後の予定>

- 7月14日(月) 1学期 学習終了
- 7月15日(火)～ 保護者面談
- 22日(火)
- 8月29日(金) 六中エリア合同保護者会
- 9月8日(月)～ 2学期 学習開始

### 生徒数(令和7年7月1日現在)

府中第二中学校……26名  
府中第六中学校……26名  
府中第九中学校……13名 合計65名

### 認定看護師による特別講座

8月29日(金)六中エリア合同保護者会に、都立小児医療センターより、認定看護師をお迎えし講演していただきます。

ご家庭での子育てのヒントや、特別支援教育に関する新しい情報などを教えていただけます。

別途ご案内を送付します。ぜひ参加をお待ちしております。